

## 所長 林 徹




### 「教養学部で学ぶ」ということ

放送大学ご入学、たいへんおめでとうございます。また、所属学習センターとして東京文京学習センターを選んでいただき、ありがとうございます。

ご存知のように、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、いろいろな社会的活動が制限を受けています。このような難しい状況にもかかわらず、新たに大学で学ぼうとする意欲を皆さんがお持ちであることに、心より敬意を表したいと思います。学習センターとして、皆さんのこれからの学びをできるかぎり支援していきたいと考えていますが、現在の状況では、従来と同じように学習センターを利用していただくことができません。いろいろとご不便をおかけすることになると存じますが、どうか皆さんのご理解、ご協力をお願いする次第です。

ところで、皆さんが入学した放送大学には教養学部というひとつの学部しかありません（以下の話は大学院にご入学の方々には当てはまらないかもしれませんが、お許してください。）工学部、法学部、文学部など、一般的な学部では、そこで学ぶことのできる研究分野が限定されており、さらにそれぞれの学部で学び続ける過程で、学科、コース、専修課程などを選びつつ、最終的に自分の専門分野にたどり着くようになっていきます。次第に枝分かれてしていく構造です。そのため、かなりの数の授業が必修科目に指定されていて、決められた授業を決められた順序で履修することが求められます。



一方、教養学部には、そのような枝分かれ構造はありません。代わりに、多様な授業がネットワークを成しています。従って、必修科目や履修順序の指定はごくわずかです。むしろ、学生の皆さんが主体的に授業を選んで、最終的に自分の専門分野を作っていくことが求められます。

そのような教養学部での学びにおいてもっとも重要なのは、主体性と、自分の興味への忠実さではないかと思います。もちろん両者は無関係ではなく、自分の興味がなければ主体的に学ぶことはできません。

とは言え、授業を自ら選びながら学んでいくのは、なかなか難しいかもしれません。どんな授業を受けるかを定めることも教養学部における学びの一部だと考え、少しずつ教養学部での学びに慣れていっていただければと思います。学習センターでは学習相談をお受けしています。もしよかったら利用してみてください。

皆さんそれぞれがご自分の望む学びができることをお祈りしています。

